



H28 年度 ネクスト環境 の動向

本年度も個々の技術向上のため、様々な講習会や試験に取り組みました。

技能講習ミリスクール

Pick Up!

この講習会では、日々の分析業務に欠かせない超純水・純水の基礎知識や正しい使い方について学びました。

日常生活において使用されている水道水や飲料水などの水には、塩素やナトリウム、鉄分など様々な不純物が含まれています。それら不純物が、分析の際に様々な悪影響を及ぼす可能性があるため、そのような水は分析に不向きといえます。そこで、蒸留水製造装置や超純水製造装置を使い不純物が少ない水、「純水」「超純水」を作っています。弊社ではこの「純水」「超純水」を分析のほか、器具や採水時の道具洗浄用としても使用しており、各業務において非常に重要なものとなっています。



講習会ではこのような装置管理の重要性、水質が分析や分析結果にどれくらい影響を及ぼすのかなどについて学びました。普段の分析業務において何気なく使用している純水ですが、非常に使用頻度が高いのでここから汚染が始まらないよう、しっかりと管理の仕方や使い方に気を使っていきたいと改めて感じました。



春

- ✿ 社員旅行
- ✿ マナーアップ講座(新人研修)
- ✿ 有機溶剤作業主任者技能講習
- ✿ イオンクロ講習
- ✿ TOC 講習
- ✿ 環境計量証明部会通常総会及び第 1 回研修会
- ✿ 環境騒音・振動測定士初級試験
- ✿ 環境測定分析士 試験

夏

- ✿ 作業環境測定事例研究発表会並びに測定士研修会
- ✿ 第一種 作業環境測定士試験
- ✿ 第二種 作業環境測定士試験
- ✿ 「平成 28 年度石綿分析機関能力向上事業」座学講習会
- ✿ 第一種 作業環境測定士登録講習(粉塵)



- ☪ 東北・北海道計量大会
- ☪ 作業環境測定士実務向上研修会
- ☪ 技能講習会ミリスクール
- ☪ 平成 28 年度 臭気判定士試験
- ☪ 環境計量証明部会第 3 回研修会
- ☪ 第一種 作業環境測定士登録講習(金属)



秋

- ✿ 第一種 作業環境測定士登録講習(有機溶剤)
- ✿ 平成 28 年度 技術者基礎教育
- ✿ 第一種 作業環境測定士登録講習(特定化学物質)



冬

平成 28 年度技術者基礎教育

Pick Up!

この講習は分析実務経験年数が比較的少ない人々を対象として 2 日間にわたって行われました。講義は「大気・水質・土壌のサンプリングの基礎」、「機器分析」、「労働安全衛生」、「騒音・振動の基礎と測定」、「分析データの統計処理法」など様々な分野の内容が取り上げられました。

サンプリングについての講義では、サンプリングの手法や注意点を、図や写真を交えて説明されていたためわかりやすく、よく頭に入りました。すぐに現場で実践できる気づきや改めて見直す点も確認でき、とても参考になりました。

機器分析についての講義では、普段自分が使用していない機器も含め、詳細な使用方法や仕組みを知ることができました。分析機器の仕組みなどは自分では十分に把握しきれない部分もあったので、非常に勉強になりました。

会社に戻ってすぐに実践できたこともいくつかあり、「参加してよかったな」と思える講習でした。この研修を通して学んだことを今後の分析業務に生かし、より正確な分析ができるよう努めていきたいです。



来年度も積極的に講習会や資格試験に参加し、個々の技術向上に努めてまいります！

今後とも弊社の活躍にご期待ください (^_^)

エコアクション21 エコドライブ推進



我々の業種では業務の都合上、車での移動が多く、弊社の車たち(NEXT号ズ)は日々大活躍です。そのため弊社では、環境に配慮した車の運用・運転に社員全員で取り組んでいます。

◆ 車両利用データの蓄積 ◆

弊社では各車両に車両日報ファイルがあります。利用するごとに目的地や走行距離を記入し、そのデータは1カ月ごとにまとめられます。これらのデータを月ごとや年度ごとに比較し、車の使用率や燃費にムダがないか検討しています。

実際にグラフなどにして視覚化すると、どの季節に利用されやすいかなど一目瞭然で、誰にでもわかりやすい資料となります。また、走行距離に対してガソリン消費が激しい月は、原因を話し合い、対策を考えます。実際にH26年度からH27年度にかけての燃費は改善傾向にあります。



◆ エコドライブ自己評価の実施 ◆

運転をする社員それぞれが、エコドライブを意識できるように、定期的にエコドライブの自己評価を実施しています。「ふんわりアクセル」「エアコン使用は控えめに」「アイドリングストップ」など10項目を5段階で評価し、合計点(50点満点)を出します。

定期的に実施することで一定の間隔で自分の運転を省みることができるので、「夏場はエアコンを使いすぎたかな」「今回は車間距離をあまり意識していなかったな」など反省点が明確になります。反省点を踏まえて運転すると、次回の評価の際に点数が上がるので、改善されていることが実感できます。



社員コラム Vol.7

遠藤 正彦 の JUMP と私

思い出せば気づいた頃には、家の周りや裏山、御成山でジャンプ、ジャンプ！して遊んでいました。冬の唯一の楽しみでした。本格的に取り組みだしたのは小学校高学年の頃で、札幌オリンピックの日の丸飛行隊の表彰台独占、金・銀・銅のメダルに強い影響を受けてのスタートでした。

「突然なんの話だろう？」と感じた方もいるでしょう。これは私がスキージャンプを始めたきっかけです。ここから長い間、私はジャンプと共に生きてきました。今回はそんな遠藤正彦のジャンプライフについて語ります。

学生時代の思い出は様々なものがありますが、最も印象に残っているのは、中学2年生の頃の出来事です。当時、私は大会前の練習で手首を骨折していました。残念ながら今回の大会には出場できないと思っていましたが、監督からの指示でまさかの強制出場!! (当時でも絶対あり得ない判断...) 涙を流しつつコンバインドクロスカントリーに参加しました。あのときはいであったなあ。しかし出場したからには意地をみせ、痛みをこらえて完走しました。あのときは出場を指示した恩師に激怒しましたが、今では良き思い出です。その恩師からは根性や我慢を教わりました。

その後もすっかりジャンプにはまってしまい、ジャンプ中心の人生を送ってきました。ラッキーだったのは進学も就職も、受験・就活することなく決まったことです。随分と楽をさせていただきました (^_^)V



社会人になっても職場の方々の厚いご支援のもと、ジャンプを続けました。平成4年の地元山形開催の紅花国体(当時30歳)まで現役で参加し、国体等での入賞もしました。その間にはフィンランドへの海外遠征など貴重な体験もしました。

現在54歳、ネクスト環境にて営業部9年目ですが、ジャンプで培った根性と、そこでお世話になりました皆様との人脈を活かして活動しています。またスキージャンプでも飛型審判や技術代表として、大会運営や人材育成に携わっています。

ジャンプは私のエネルギー源です。今後とも選手の育成や競技運営に積極的に関わっていきたくと考えています。ネクスト環境営業部としての私、スキージャンプを盛り上げる私、両方の遠藤正彦を今後ともよろしくお祈りします。

ネクスト環境の壺… (編集後記)

今年の米沢は例年並みの積雪で、可もなく不可もなくといったところ。春待ち遠しい今日この頃ですね。さて今回のNKC通信は平成28年度の取組み特集でしたが、いかがでしたでしょうか? こうしてまとめてみると、一步一步の歩みは小さいですが、確実に会社も個人も成長していることがわかります。今号には間に合いませんでしたが、またまた新戦力も加入しましたので次号でご紹介したいと思います。新年度もネクスト環境コンサルタントをよろしくお祈りいたします m(__)m&m(__)m

文責: ヤングエグゼクティブプロデューサー (編集長) 小関治

